学校番号	１００７

令和３年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅠ	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	スポーツⅠ						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎体力の向上と基本的な運動能力の向上を目指そう。
・年間を通しての様々なカリキュラムの中で、自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って、各種の運動に取り組み、体力を高めたりすることができるようになろう。

2　学習の到達目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育て、球技及び、測定競技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各種目の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする。互いに共感し、高め合おうとしている。	知識を活用し、技術向上につなげている。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。自己の課題を解決するとともに、生涯を通してスポーツにかかわることができるよう、課題の設定や活動の評価、目標の修正などができる。	運動の合理的な行い方が身についている。 記録や技能向上に挑戦している。 各種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したりできる。	技術や競争における作戦、技、技能の高め方、合理的な練習方法や体力の高め方、審判法や競技会などの運営の仕方、運動の観察や動作分析の仕方などを理解している。
評価方法	・出席状況 ・平常態度 ・レポート 等	・レポート ・自己の運動を分析し、技術向上へつなげているか 等	・技能観察 等	・レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	バレーボール	バレーボール ・準備物の説明 ・基本技術の習得 ・ルール解説・ゲームの進め方の説明・ゲームの自主運営の育成 ・パス、サーブ、アタックなどの基本技術の復習 ・ローインパクトボールゲームへの自主運営能力の育成	○		○		a:バレーボールの特性やゲームに関心を持ち、仲間と互いに協力し、教えあいながら積極的に練習やゲームに取り組んでいる。 b:練習やゲームを通して自己の課題の解決を図ろうとしている。 c:安定したボール操作及び、状況に応じたボール操作、動きを行うことが出来ている。 d:ルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察
2ターム	バレーボール 陸上競技 テニス	バレーボール ・ローインパクトボールゲームへの自主運営能力の育成 陸上（槍投げ・円盤投げ） ・測定、準備の説明 ・走、投基本技術の習得 ・フォームチェック ・記録測定 テニス ・ラケットの握り方スイング ・ストローク、サーブ、ボレー、スマッシュなどの基本技術の習得 ・ルールの解説・試合の進め方説明		○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:練習やゲームを通して自己の課題の解決を図ろうとしている。 c:各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察

3ターム	テニス 陸上競技	テニス ・ゲームの自主運営能力の運営 陸上（槍投げ・円盤投げ） ・記録測定	○		○	○	a:フェアプレイを心がけて積極的にゲームに関わっている。 b:チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できている。 c:状況に応じたボール操作や、空間を意識してプレーできている。 d:各種目のルールを理解し、適切にゲーム運営や測定ができている。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察
4ターム	縄跳び 卓球	縄跳び ・30級から1級までの技を設定し、各自が課題を持って練習する 卓球 ・準備物コート準備の要領 ・ラケットの握り方スイング ・サービス・フォアハンドロング・スマッシュ・バックハンドショット ・ルールの解説・試合の進め方説明 ・ダブルスのゲーム		○	○		a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている b:チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できている。 c:状況に応じたボール操作や、空間を意識してプレーできている。 d:各種目のルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。